

報道関係者 各位

令和4年3月 16 日

【照会先】

医政局医事課試験免許室

試験専門官 田上 真理子(内線 2578)

国家試験係長 安達 亘 (内線 2573)

(代表電話) 03(5253)1111

第 115 回歯科医師国家試験の合格発表について

令和4年1月 29 日(土)及び 30 日(日)に東京都他7カ所において実施した第 115 回歯科医師国家試験の合格者を発表しました。今回の歯科医師国家試験の合格者数等は次のとおりです。

記

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
新 卒 者	2,413 人	1,999 人	1,542 人	77.1%
全 体	3,667 人	3,198 人	1,969 人	61.6%

第 115 回歯科医師国家試験の合格基準

第 115 回歯科医師国家試験の合格基準は、

一般問題（必修問題を含む）を 1 問 1 点、臨床実地問題を 1 問 3 点とし、

- | | | |
|---|-------------|--------------------|
| ① | 領域 A（総論） | 5 9 点以上／ 9 9 点 |
| ② | 領域 B（各論Ⅰ～Ⅱ） | 1 0 6 点以上／ 1 6 2 点 |
| ③ | 領域 C（各論Ⅲ～Ⅴ） | 1 3 1 点以上／ 2 0 9 点 |
| ④ | 必修問題 | 6 4 点以上／ 8 0 点 |

但し、必修問題の一部を採点から除外された受験者にあつては、
必修問題の得点について総点数の 8 0 % 以上とする。

とする。

第115回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 11 問

11 心臓に最も腹腔側で接続するのはどれか。1つ選べ。

- a 肺静脈
- b 肺動脈
- c 下大静脈
- d 上大静脈
- e 上行大動脈

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第115回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 23 問

23 55歳の女性。下顎右側第一小臼歯と第二小臼歯の金属冠を白くしたいことを主訴として来院した。10年前に齲蝕治療のためにクラウンを装着したという。診察の結果、 $\overline{54}$ のクラウンを除去し、コンポジットレジンクラウンを装着することとした。製作したクラウンの写真(別冊No. 2A)と装着直前までの一連の過程の写真(別冊No. 2B)を別に示す。

一連の過程で4番目に行うのはどれか。1つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

設問の状況設定が不十分で正解が得られないため。

第115回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 80 問

80 病変に石灰化物を伴うことがあるのはどれか。 **3つ**選べ。

- a 血管腫
- b 上皮真珠
- c 顎放線菌症
- d 滑膜性骨軟骨腫症
- e 結核性リンパ節炎

(採点上の取り扱い)

4通りの解答を正解として採点する。

(理 由)

4つの選択肢が正解であるため。

第115回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

B 問題 第 6 問

6 唾液腺腺房細胞からタンパク質の分泌を促進するのはどれか。1つ選べ。

- a ドパミン
- b セロトニン
- c ヒスタミン
- d アセチルコリン
- e ノルアドレナリン

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第115回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

B 問題 第 13 問

13 歯周病の細菌検査において最も検出感度が高いのはどれか。1つ選べ。

- a 培養法
- b PCR 法
- c 特異抗体法
- d 酵素活性測定法
- e DNA プローブ法

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第115回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

B 問題 第 16 問

16 組織加重〈荷重〉係数(国際放射線防護委員会 2007 年勧告)が最も小さいのはどれか。1つ選べ。

- a 肺
- b 乳 房
- c 生殖腺
- d 唾液腺
- e 赤色骨髄

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第115回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

B 問題 第 18 問

18 口腔領域への転移性腫瘍で最も頻度の高い部位はどれか。1つ選べ。

- a 舌
- b 下顎骨
- c 顎下腺
- d 頬粘膜
- e 上顎骨

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第115回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

B 問題 第 74 問

74 化学的プラークコントロールに用いるのはどれか。3つ選べ。

- a フラボノイド
- b 塩化リゾチーム
- c デキストラナーゼ
- d エッセンシャルオイル
- e セチルピリジニウム塩化物

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

第115回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 16 問

16 乳歯齲蝕と受動喫煙の関係を検討した複数の疫学研究で、同様の関連する結果が認められた。

該当する因果関係の判断基準はどれか。1つ選べ。

- a 関連の一致性
- b 関連の強固性
- c 関連の時間性
- d 関連の整合性
- e 関連の特異性

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第115回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 19 問

19 *Streptococcus mutans* のレバン産生酵素はどれか。1つ選べ。

- a アミラーゼ
- b インペルターゼ
- c デキストラナーゼ
- d グルコシルトランスフェラーゼ
- e フルクトシルトランスフェラーゼ

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

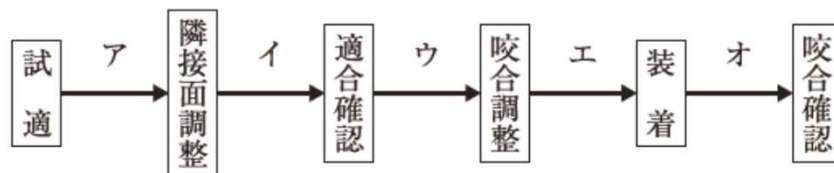
(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第115回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 59 問

59 85歳の女性。上顎右側臼歯部の咬合痛を主訴として来院した。軽度認知症の状態で過去にインレーを誤飲したことがあるという。4]と6]の根管治療を行った後、同部の金属冠を製作した。完成後の金属冠の写真(別冊No. 21)を別に示す。一連の治療過程を図に示す。



本症例において、矢印で示す構造を取り除く時期はどれか。1つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

(採点上の取り扱い)

複数の選択肢を正解として採点する。

(理 由)

設問が不明確で複数の選択肢が正解と考えられるため。

第115回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 90 問

90 ある地域住民 100 名を対象として歯のフッ素症の調査を実施した結果を表に示す。

Deanの分類	人 数
Normal	50
Questionable	40
Very mild	10
Mild	0
Moderate	0
Severe	0

この地域の CFI を求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第 2 位を四捨五入すること。

解答： . %

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

設問文に誤字があったため。

第115回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

D 問題 第 6 問

6 我が国において年間当たり個人が受ける放射線量(mSv)に最も大きく寄与するのはどれか。1つ選べ。

- a 宇宙線
- b 医療による放射線
- c 吸気からの放射線
- d 食品からの放射線
- e 大地からの放射線

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第115回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

D 問題 第 19 問

19 大腿四頭筋に存在する筋紡錘からの求心性ニューロンの細胞体があるのはどれか。1つ選べ。

- a 脊髓前角
- b 脊髓側角
- c 脊髓後角
- d 交感神経幹
- e 脊髓神経節

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第115回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

D 問題 第 24 問

24 歯周組織検査の項目と評価内容の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a BOP ————— 歯肉辺縁部の自然出血
- b 歯の動揺度 ————— 歯周組織の破壊程度
- c O'Leary の PCR ————— プラークの厚さ
- d プロービング深さ ————— 歯肉辺縁からポケット底部までの距離
- e アタッチメントロス ————— 付着の喪失量

(採点上の取り扱い)

3通りの解答を正解として採点する。

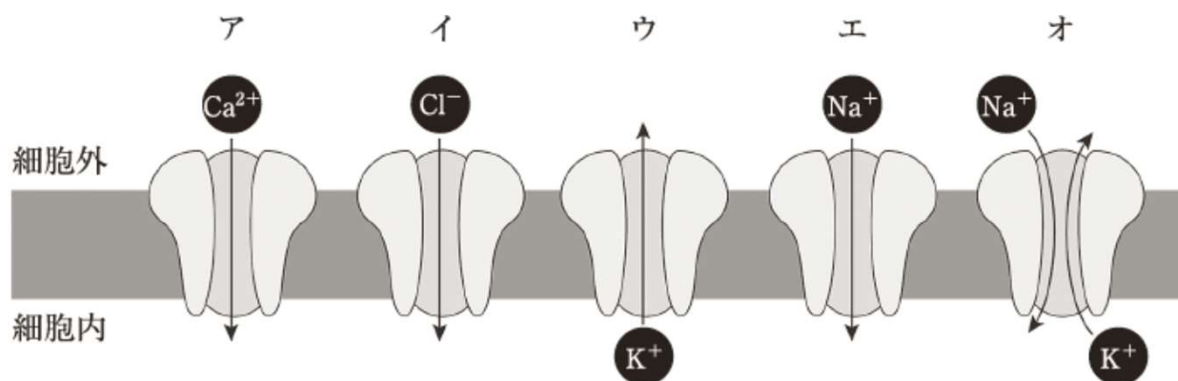
(理 由)

3つの選択肢が正解であるため。

第115回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

D 問題 第 59 問

59 イオンチャネルと透過するイオンの模式図を示す。



ロクロニウム臭化物が遮断するのはどれか。1つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

第115回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

D 問題 第 70 問

70 3歳の男児。下顎右側乳中切歯の動揺を主訴として来院した。1年前に $\overline{A}$ が自然脱落し、そのころから $\overline{A}$ にも動揺を感じていたが、痛みがないためそのままにしていたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 22A、B)、持参した脱落歯の写真(別冊No. 22C)及びエックス線画像(別冊No. 22D)を別に示す。歯周組織検査結果(1点法)の一部を表に示す。

歯 種	$\overline{E}$	$\overline{D}$	$\overline{C}$	$\overline{B}$	$\overline{A}$	$\overline{A}$	$\overline{B}$	$\overline{C}$	$\overline{D}$	$\overline{E}$
プローピング深さ(mm)	3	2	2	3	5	/	2	3	3	3
動揺度(Millerの判定基準)	0	0	0	1	3	/	1	0	0	0

歯とその所見に関する保護者への説明の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- | 歯 | 保護者への説明 |
|----------------------|--------------------|
| a $\overline{A}$ ——— | 「生え代わりで抜けています」 |
| b $\overline{A}$ ——— | 「小児科の先生にも相談しましょう」 |
| c $\overline{A}$ ——— | 「歯ぐきが腫れています」 |
| d $\overline{A}$ ——— | 「近いうちに抜ける可能性が高いです」 |
| e $\overline{B}$ ——— | 「歯ぐきの位置が下がっています」 |

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

問題として不適切であるため。

第115回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

D 問題 第 78 問

78 上顎悪性黒色腫の口腔内写真(別冊No. 27)を別に示す。

MRI の信号強度の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- | | T1 強調像 | | T2 強調像 |
|---|--------|-------|--------|
| a | 低 | ————— | 低 |
| b | 低 | ————— | 高 |
| c | 高 | ————— | 低 |
| d | 高 | ————— | 高 |
| e | 中等度 | ————— | 中等度 |

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

第115回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

D 問題 第 85 問

85 気管挿管後に気管チューブ挿入状態を確認するのに適切なのはどれか。2つ選
べ。

- a 動脈血ガス分析
- b 両側側胸部の聴診
- c 胸部エックス線撮影
- d 経皮的動脈血酸素飽和度測定
- e 終末呼気二酸化炭素分圧測定

(採点上の取り扱い)

3通りの解答を正解として採点する。

(理 由)

3つの選択肢が正解であるため。

歯科医師国家試験 合格者数等の推移

回 数	施行年月日	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率（％）
第106回	平 成 25 年 2 月 2 ～ 3 日	3,321 （ 2,373 ）	2,366 （ 1,907 ）	71.2 （ 80.4 ）
第107回	平 成 26 年 2 月 1 ～ 2 日	3,200 （ 2,241 ）	2,025 （ 1,642 ）	63.3 （ 73.3 ）
第108回	平成27年1月31日～2月1日	3,138 （ 1,995 ）	2,003 （ 1,457 ）	63.8 （ 73.0 ）
第109回	平 成 28 年 1 月 30 ～ 31 日	3,103 （ 1,969 ）	1,973 （ 1,436 ）	63.6 （ 72.9 ）
第110回	平 成 29 年 2 月 4 ～ 5 日	3,049 （ 1,855 ）	1,983 （ 1,426 ）	65.0 （ 76.9 ）
第111回	平 成 30 年 2 月 3 ～ 4 日	3,159 （ 1,932 ）	2,039 （ 1,505 ）	64.5 （ 77.9 ）
第112回	平 成 31 年 2 月 2 ～ 3 日	3,232 （ 2,000 ）	2,059 （ 1,587 ）	63.7 （ 79.4 ）
第113回	令 和 2 年 2 月 1 ～ 2 日	3,211 （ 1,995 ）	2,107 （ 1,583 ）	65.6 （ 79.3 ）
第114回	令 和 3 年 1 月 30 ～ 31 日	3,284 （ 2,103 ）	2,123 （ 1,687 ）	64.6 （ 80.2 ）
第115回	令 和 4 年 1 月 29 ～ 30 日	3,198 （ 1,999 ）	1,969 （ 1,542 ）	61.6 （ 77.1 ）

※（ ）内は新卒者を示す

歯科医師国家試験 男女別合格者等の推移

					男女別合格率(%)	
回数		総数	男性	女性	男性	女性
第111回 (平成30年)	受験者数(人)	3,159	1,924	1,235	60.4	71.0
	男女比(%)		(60.9)	(39.1)		
	合格者数(人)	2,039	1,162	877		
	男女比(%)		(57.0)	(43.0)		
第112回 (平成31年)	受験者数(人)	3,232	1,971	1,261	60.0	69.5
	男女比(%)		(61.0)	(39.0)		
	合格者数(人)	2,059	1,183	876		
	男女比(%)		(57.5)	(42.5)		
第113回 (令和2年)	受験者数(人)	3,211	1,949	1,262	62.3	70.7
	男女比(%)		(60.7)	(39.3)		
	合格者数(人)	2,107	1,215	892		
	男女比(%)		(57.7)	(42.3)		
第114回 (令和3年)	受験者数(人)	3,284	1,928	1,356	61.1	69.7
	男女比(%)		(58.7)	(41.3)		
	合格者数(人)	2,123	1,178	945		
	男女比(%)		(55.5)	(44.5)		
第115回 (令和4年)	受験者数(人)	3,198	1,856	1,342	57.4	67.4
	男女比(%)		(58.0)	(42.0)		
	合格者数(人)	1,969	1,065	904		
	男女比(%)		(54.1)	(45.9)		

第115回歯科医師国家試験 卒業年次別受験者数・合格者数・合格率

卒業年次		受験可能回数	受験者数（人）	構成比（％）	合格者数（人）	合格率（％）
新卒	令和3年4月～ 令和4年3月	1回	1999	62.5	1542	77.1
既卒	令和2年4月～ 令和3年3月	2回	496	15.5	268	54.0
	平成31年4月～ 令和2年3月	3回	231	7.2	84	36.4
	平成30年4月～ 平成31年3月	4回	116	3.6	32	27.6
	平成29年4月～ 平成30年3月	5回	94	2.9	26	27.7
	平成28年4月～ 平成29年3月	6回	81	2.5	10	12.3
	平成27年4月～ 平成28年3月	7回	53	1.7	3	5.7
	平成26年4月～ 平成27年3月	8回	26	0.8	2	7.7
	平成25年4月～ 平成26年3月	9回	19	0.6		0.0
	平成25年3月以前	10回以上	83	2.6	2	2.4
	計		1,199	37.5	427	35.6
総 計			3,198	100	1969	61.6